

ヤマハンショウヅルを見つけよう！

ヤマハンショウヅル

[キンポウゲ科]

Clematis alpina (L.) Mill. subsp. *ochotensis* (Pall.) Kuntze var. *fauriei* H.Boissieu

2010年に宿毛市で発見された常緑つる性木本です。その後、三原村や中土佐町でも見つかっており、おそらく別の地域にもあるのではないかとささやかれている植物です。開花期は12～1月ごろで、これまで見つかっているのはほとんどヒノキ林です。冬のヒノキ林には用事がなく、行きたい気持ちにもなりませんが、林冠を覆うように咲く白い花は遠くからでも確認できます。



↑花茎が赤い。花糸が縮れたように見える。



◆ 募集する標本・情報

樹冠に咲くため、開花標本はなかなか採れません。もし林冠にきらめく白い花を見かけ、標本が採れそうになかったときには、以下の情報をご提供ください。

- 林冠で花の咲く様子、茎（つる）の写真（アップと遠景）
- 林の種類（ヒノキ林、常緑樹林など）
- 位置図（緯度・経度）



葉柄が他物にからむ



つる部分

[注意事項]

- ・つるを引きずり降ろさないでください。
- ・遠景写真はできるだけ場所がわかるように撮影をお願いいたします。

D 101
cm0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
cm

Copyright reserved

Flora of Shikoku
Database
(MBK)PLANTS OF SHIKOKU
- Herb. Makino Botanical Garden -

112 Ranunculaceae

Clematis crassifolia Benth.

ヤマハンショウヅル

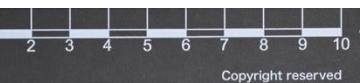
Herbarium of Makino Botanical Garden

! As determined.

Det. Yuki Tanabe (Kurahashi) Feb. 2013

See alcohol collection

葉には鋸歯がなく全縁で、三小葉、光沢がある。葉柄が他物にからむ。花びらのように見えるのはがく片で、白色。花糸（葯を支えるひも状のもの）が縮れたように見える。



Copyright reserved

Flora of Shikoku
Database
(MBK)

SHEET / OF 3

PLANTS OF SHIKOKU
-Herb. Makino Botanical Garden-

112 Ranunculaceae

つるには著しい稜があり、コルク質。

The Makino Botanical Garden (MBK)
Clematis crassifolia Benth.
ヤマハニシヨウリ
Det.: Kazumi Fujikawa Date: 16 Jan. 2012